

ふるさとキャリア教育推進事業について

1 目的

本市の児童生徒が、職場体験などの体験活動を通して、学ぶことや働くことの意義を考え、地域の方とのふれあいを通して「ふるさと小樽」のよさに気づき、自己の将来について考えを深める機会を設けることで、小樽の未来を担う人材育成を目指す。

2 屋形船における講話

【平成31（令和）元年度の児童の感想】

- ・ 屋形船から小樽の様子が見れて最高の思い出になりました。
- ・ 初めて、屋形船にのってうれしかった。楽しかった。気持ちが良かった。
- ・ 灯台や北防波堤のこと、それを誰が考えたのかを知れたし、クレーンも近くで見るとこんなにおおきいんだなあと思いました。小樽にあるたくさんのことを教えてもらって、小樽ってすごいなと思いました。
- ・ 屋形船に乗って、小樽のことがよく分かりました。小樽のことがとても好きになりました。

【令和2年度】

新型コロナウイルス感染症の集団感染のリスクを可能な限り低減する必要があることから、今年度は開催しないこととした。ただし、小樽観光ガイドクラブのスタッフが各小学校を訪問し、屋形船や小樽の歴史について講話を行う出前講座を実施できることを学校に連絡し、潮見台小と桂岡小で実施済。

3 キャリア教育に関わる出前授業

平成31（令和元）年度は、小学校8校、中学校2校で実施。

商工会議所の知産志食に関わる料理人の方や、ダンス教室講師の方、漁業関係者を招き、職業講話を開催。

【成果】

- ・ 将来の夢に向かい、子どもたちから努力をしてきた講師の生き方に触れたことで、子どもたちが前向きに努力を重ねることの大切さと、自分の将来へ向けて可能性の広がりを感じるきっかけとなった。
- ・ 知産志食については、小樽・後志のこれまで気づかなかった地元の食材について知るとともに、職人さんの魅力について直に学ぶことができた。

4 進路説明会

- ・ 令和2年度の進路説明会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、これまでの児童生徒、保護者及び教職員等が来場する開催方法ではなく、各高等学校からの資料の配付と学校紹介動画を配信する方法に変更した。（令和3年2月末日まで視聴可能）

5 進学相談会

- ・ 高校生を対象に、小樽商科大学や専門学校等から直接説明を聞く場として、7月17日（木）経済センターで実施。参加者は43名。（昨年度29名）